



高村京子県議会報告

記録的に早い桜の開花とともに草花が一齐に咲き誇り、新年度が始まりました。新型コロナウイルス感染症の拡大は止まらず第4波とも言われ変異株の感染も増え、1年以上にわたるコロナ対応で暮らしや営業の先行き不安が広がっています。

飲食や外出の自粛が引き続き求められ、飲食業や観光業をはじめ地域経済は深刻な事態に陥っており、閉店する店も後を絶ちません。このままではもたないとの切実な声も寄せられています。誰でもすぐに受けられるようPCR検査の拡充、医療機関への減収補填、営業規模に応じた補償、持続化給付金の再支給など命と暮らし、営業を守る施策を県独自にも実施すべきと求めています。

県は、4月8日、緊急に生活と営業支援策として、生活福祉貸付資金の増額、低所得一人親世帯の児童一人5万円の給付、さらに県からの要請で営業時間短縮等を行った事業所に1日4万円の協力金、特別警報IIが発出された市町村が行う事業者支援に対し交付金など、総額約32億2千万円を専決処分しました(99.9%が国庫支出金)。



3月2日 県議会一般質問に登壇

看護職員の充実に向けて 養成支援を

高村 2025年の看護師需給計画は、コロナ禍での医療ひっ迫状況は踏まえていないので見直すべきでは。

健康福祉部長 2025年までに、1000人の増加が必要と見込んでいる。医療ひっ迫も落ち着けばこの目標でよいのではと考える。

高村 3年課程の長野赤十字看護4専門学校がR4年3月で、信州上田医療センター付属看護学校がR6年3月で閉校予定、そこで上田医師会が准看護学校を閉科して進学コースを3年課程の看護学校への転換を計画されている。上小地域は看護職員が県内でも少ない地域であり、上田医師会が取り組む看護養成校への財政面を含めた支援を求める。

健康福祉部長 昨年9月に上田医師会等に行き直接意見交換した。養成施設の実態を踏まえ支援について検討する。

新和田トンネル無料化 今年夏の計画が来年4月に延期 料金負担の軽減を

高村 当初、今年夏の無料化と公表していたが、来年の4月から実施へ半年延期する条例案が出された。他のオリンピック関連で建設したトンネル等は昼間100円、夜は無料などであり県は24億円余を補填している。新和田トンネル利用は市町村も負担する朝夕の通勤時間帯半額は歓迎するが、大型車は対象外であり、周辺住民・観光客・大型車の負担は大変に重い状況にある。さらなる軽減策を求める。

建設部長 現在の朝夕の通勤時間帯住民半額割引は継続するが、さらには難しい。一般道路となっても道路の安全管理に万全を尽くす。

ジェンダー平等、困難を抱える 人に配慮する社会へ

高村 男女不平等の指数は世界で後進国の日本、コロナ禍で苦しむ女性が増えている。固定的性別割分担意識が根強く女性の生きづらさがあり、政策決定の場に女性の参加は大変遅れている。新年度からの第5次男女共同参画計画では、どのように取り組みを強めるか。

女性活躍推進監 男女双方の意識改革を促進するため、あらゆる機会でも繰り返し啓発事業を強める。

高村 障がい者共生社会づくり条例を策定中だが、障がい者は様々な場面で困難を抱えている。施策の推進についても当事者抜きには決めるべきではない。

健康福祉部長 当事者や関係者に参画してもらい、意見交換の機会を増やし施策に反映するよう努める。

阿部知事 多様な方々がいる中で社会は成り立っている。ジェンダーに関わらず、誰でも暮らしやすい長野県を目指す。

産業労働委員会



中小企業融資制度資金は 過去最高の1500億円を設定

- ・3年間無利子・無担保資金は5月31日まで延長、借換もOK。
- ・コロナ禍1年以上となり、今年に入って小売・飲食・観光の業況はマイナス60～100と悪化。事業規模に応じた直接支援が必要と提言しました。



医療介護現場や保健所で奮闘されている看護職団体、県看護協会の松本あつ子会長と懇談(1月15日)

日本共産党県議会報告

No. 8 2021年4月 【2021年2月定例議会報告】

ご意見・ご要望をお寄せください。

発行/日本共産党長野県議団 〒380-8570 長野市南長野幅下692-2 長野県議会日本共産党控室
TEL 026-237-6266 (直通) FAX 026-237-6322
E-mail jcpngnkd@avis.ne.jp ホームページ <http://www.jcpnagano-kengi.jp/>

